



瑞浪市青少年育成市民会議だより 第14号

笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議 TEL 68-5281 (総合文化センター内)

〔編集〕 瑞浪市青少年育成市民会議広報部会

第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会



市民会議総会



表彰状の贈呈



感謝状の贈呈



土岐小ソフトボールスポーツ少年団発表



稲津小ソフトボールスポーツ少年団発表



瑞浪地区青少年育成町民会議発表

「第2回瑞浪市青少年育成市民会議」を開催！

2月17日（日）、第2回瑞浪市青少年育成市民会議が総合文化センター講堂にて開かれました。会議では、青少年育成に貢献された方への表彰状・感謝状の贈呈、市民会議規約の改正案・事業案の議事、四部会の活動報告、青少年活動団体・モデル地区の実践発表が行われました。実践発表では、青少年のたくましく豊かな心身を養う地域活動やスポーツへの子どもたちのかかわりの様子や支援の仕方が紹介され、「青少年が心豊かでたくましく自立し、ふるさとに愛着をもって、健全に成長する」ための取組活動の参考になりました。次の方々が表彰状・感謝状を授与されました。

受賞者名の紹介

表彰状

日吉中学校生徒会 MSJ リーダーズ 様 釜戸中学校釜戸ボランティア連合 様
瑞陵中学校ボランティア 様

感謝状

小栗計久 様（日吉町） 林さき子 様（日吉町） 小木曾文和 様（稲津町）
小栗富美子 様（益見町） 南波匡男 様（上野町）

「子ども・若者育成支援全国強調月間」啓発活動

10月～11月にかけて、市内6会場にて『子ども・若者育成支援全国強調月間』の啓発活動を行いました。「青少年の健やかな育成に対する市民の理解を深めるとともに、各種活動への積極的な参加と日常的な行動を促し、次代を担う子ども・若者の育成支援の一層の充実と定着を図る」ことを目的に、中央公民館文化祭並びに各地区文化祭の会場で、ネットの安全・安心な利用（子どものスマホにはフィルタリングを！）などについての啓発活動をリーフレット・ティッシュ・マスクの配布活動を通して行いました。当日は、瑞浪市青少年育成市民会議会長の水野光二市長をはじめとした市民会議の皆さんと、麗澤瑞浪高等学校・県立瑞浪高等学校のMSリーダーズ、各町民会議、東濃西部少年センター、酒類小売販売業組合の皆さんに協力をいただきました。



中央公民館文化祭（11／11）



中央公民館文化祭（11／11）



陶サニーヒルズ祭（10／21）



日吉町文化祭（10／21）



釜戸町文化祭（10／28）



稲津町文化祭（10／28）



大湫町文化祭（11／3）

学校・家庭・地域がつながるための 「考え方とひと工夫」

家庭教育部会

7月27日（金）、瑞浪市PTA連合会主催の「教育講演・懇談会」に、青少年育成市民会議家庭教育部会員も参加しました。今年度の市P連の重点目標『心身ともに健やかで、活力ある子どもを育てるために、繋がろう！学び合おう！』に向かって、学校・家庭・地域の連携と協働の強化に向けた研修と、単位PTA同士の情報交流を行う会でした。家庭教育部会員も参加することで、青少年育成を地域で支える一員として、学校や家庭の声を聴くよい機会となりました。学校・家庭・地域それぞれの実態を熟知した講師から、「学校・家庭・地域とつながるための考え方とひと工夫」という講演を聴いた後、小グループでの懇談を行い、三者が連携を深めていくための道筋について熱のこもった意見交換をしました。

講師：石原 学 先生（岐阜県環境生活環境政策課生涯学習企画監）



講演会・懇談会の感想より

- ・現状では、すぐには地域とのつながりをたくさん取り入れることはできないが、少しでも地元とつながれる体験をすることで、地元とつながれる子を育て、将来地元に戻ってきてくれる子に育ってくれたらと願っています。
- ・地域との連携の例を聞け、とても勉強になる講演でした。また近隣地区の活動も聞けて良かったです。
- ・短い時間でしたが、地域の実態も話し合うことができたので、参加できて良かったです。
- ・学校と地域とが共同で子どもを育てることができるのが理想だと思います。
- ・家庭・学校・地域のつながりは必須の課題であるため具体的に関わり方（家庭・学校・地域）を紹介していただきました。
- ・地域の力を学校に導入していく様々なアイデアをいただきました。
- ・地域とのつながり方の事例が多く聞けました。今後我が校の活動の中でもまだこれから地域の方とふれあえる様な活動があるかもしれないので、役員一同、子どもたちの為に考えていきたいと思っています。
- ・グループの人たちと話して、色々な意見交換ができたので良かったです。PTAはちょっと難しいことばかりと思っていましたが、今日の講演でそうではないことがよくわかりました。

若者と地域のかかわりを考える

「高校生と語る会」で交流

地域活動部会

12月9日（日）に、中京学院大学附属中京高等学校・瑞浪高等学校の生徒と青少年育成市民会議地域活動部会・各町民会議の皆さん約60名の参加を得て、『若者と地域とのかかわり』をテーマに、「高校生と語る会」を開催しました。

瑞浪高等学校2年生の加藤杏さんの主張「ふるさと瑞浪を魅力的な街へ」を聴いて感想交流をした後、テーマについて意見交流を行いました。高校生と大人が世代の違いを超えて話し合い、互いの考えに頷き合う姿が多く見られる充実した会となりました。



加藤杏さんの主張を聞いて

- ・ふるさとに対する熱い思いや使命感があると感じた。人々が結び合える環境が大切だと思った。
- ・杏さんのような高校生がいることが素晴らしい。親は瑞浪にいてほしいが、それを子どもに伝えられていない。子どもは夢を叶えるために都会に出ていくことが多い。
- ・若い人が出ていかないように「ゴジカラ村」の様な所を創れるとよいのではないか。
- ・高校生が瑞浪のことを大切に想ってくれていることが嬉しい。
- ・地元を一旦離れても、戻ってきた時に大事だと思えるような街であるとよいと思う。
- ・若者が地元に戻ってきたいと思えるような環境をつくるのが大人の役目だと感じた。

グループ交流を通して

- ・地元を魅力的にするために、地域の方と若者との交流を増やすことが必要だと思う。
- ・高校生が自分たちから行動し考えるのは素晴らしいことだと思う。そうした若者を巻き込んでいくこと、積極的に参加していけるようにすることが大切だと思う。
- ・若者が地元についてもっと知ったり、地元の優しさに気付いたりできるように、地域の方と気楽に触れ合える場所があるとよいのではないかと考える。
- ・地元瑞浪の魅力的なものをもっと出し合い、もし都会に出て行っても地元に戻りたいな、恋しいなと思えるような、「瑞浪と言えば…」と瑞浪を誇れるような企画ができるとよいと思う。
- ・ただ考えるだけではなく、自分たち高校生も何か積極的に参加していく必要があると思った。



地域で青少年の健全育成にかかわってくださっている方々から寄稿いただきました

「ＪＣ青年の船「とうかい号」

一般社団法人瑞浪青年会議所 奥村一仁

ＪＣ青年の船「とうかい号」は、非日常の環境である洋上での研修を通して様々な気づきと多くの感動を得て、自身の夢や目標を明確にしていきます。また海外の寄港地で現地青年と交流を行い、国際友情を育みます。そして何より乗船した仲間と限りある時間の中で切磋琢磨していくことで、本音で語り合うことができる一生の仲間と出会う機会となります。

本年度は６月３日～１０日まで、瑞浪から３名の一般乗船者の方々が乗船しました。乗船した経験が人生を変えるきっかけとなります。来年度の皆様の乗船を心よりお待ちしております。



「美濃源氏七夕募金・ 歳末助け合い募金に参加して」

瑞浪市明るい社会づくり推進会理事 木村彰男

私は瑞浪市手をつなぐ育成会会長を平成 23 年度から 7 年間務めさせていただきました。この間、瑞浪市明るい社会づくり推進会主催の、８月美濃源氏七夕募金と 12 月歳末助け合い募金に参加させていただきました。歳末助け合い募金は全額、赤い羽根共同募金会へ寄付されます。美濃源氏七夕募金は瑞浪市の障がい者 3 団体に寄付されます。



その団体の 1 つである手をつなぐ育成会は知的障がい児（者）の親の会です。毎年、寄付を受けていることに感謝しています。

この募金活動に瑞浪高校と中京高校の生徒さん有志が数名参加されます。とても頭が下がる思いです。思春期に街頭での募金活動はかなり勇気がいります。しかし、スーパーに来た方々は若い高校生の姿に心を打たれ、募金に協力していただけます。彼ら、彼女らは夏の暑い時、冬の寒い時にこの貴重な体験をします。彼ら、彼女らのこれからの人生に役立つことを祈ります。

「市スポ少野球・ソフト春の交流会」

瑞浪市スポーツ少年団 前田英伸

市スポーツ少年団では、毎年、春と秋に市内の各单位団チームによる、野球及びソフトボールの交流会を学年別に開催しています。本年度も、春（５月 12 日、19 日、6 月 16 日）と秋（10 月 6 日、13 日、20 日、27 日、11 月 3 日）に実施しました。いずれの日も天候に恵まれ、市内各所に設けられた会場で、熱戦が繰り広げられました。参加した子どもたちは、日ごろの練習の成果を元気いっぱいにつけ合いました。

近年、子どものスポーツ離れが話題になります。そのため、子どもたちの体力低下や心身の発達への影響などが心配されています。市スポーツ少年団は、瑞浪市内の青少年が、スポーツを通して「健康なからだを心で養い」、また「ルールを守り、他人に迷惑をかけない立派な人間になる」よう、スポーツによって「自分の力を伸ばす努力」を体感し、「スポーツの喜びを学び、友情と協力を大切にする」、そうした社会に貢献できる人間をこれからも育てる活動を行います。



「無ガム中」大作戦 ～駅周辺清掃ボランティア～ 環境改善部会

12月22日(土)に、JR瑞浪駅から地下通路、駅裏までの路面のガムはがしやゴミ拾いを行う活動『無ガム中』大作戦を行いました。市民会議環境改善部会主催によるもので、今年度で4回目の実施となりました。当日は雨模様の中、部会員の他、瑞浪中学校・瑞陵中学校・瑞浪高等学校の生徒さん、退職公務員連盟の方々を含めて約100名のボランティアの参加がありました。

路面にこびり付いたガムを、写真のように黙々と金属ベラやワイヤーブラシなどを使って取り除きました。おかげでベンチ周辺やバス停の路面、点字ブロック、地下道の階段・通路、駅裏ロータリーが大変きれいになりました。参加した生徒さんは、ガムやたばこの投げ捨てが減ることを願っていました。



1年間の活動を終えて

瑞浪市青少年育成推進員代表 安田 善一郎

今年度も、瑞浪市青少年育成のスローガン「みとめて、ほめて、はげまして」のもと、各地・各場所で、様々な事業活動に参加頂きありがとうございました。

6月の主張大会では、市内の高校生が司会や進行のお手伝いをして、大会を一生懸命盛り上げてくれました。7月、10月には、全国強調月間の街頭啓発活動を各地区の夏まつりと文化祭で啓発グッズの配布をすることで、各地区の皆さんに知って頂きました。その際には、各地区の青少年育成推進員の方々にも協力して頂きました。12月には、「高校生と語る会」で“若者と地域との関わり”をテーマに、高校生と地域との関わり方、また連携して出来る事等の意見交換をして、お互いに刺激を受けた会になりました。

このように多くの活動を終えてみて、皆さんの活動に感謝すると共に、来年度もより良い青少年育成活動が出来ることを願っています。

2019年度 主な年間行事(予定)

- ・ 5月19日(日) 第1回青少年育成市民会議
- ・ 6月16日(日) 瑞浪市主張大会
- ・ 9月29日(日) 高校生と語る会
- ・ 2月16日(日) 第2回青少年育成市民会議